

原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：令和元年10月4日（金）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：児嶋長官官房総務課長

<本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから原子力規制庁の定例ブリーフィングを始めます。

○児嶋総務課長 報道官の児嶋です。

それでは、お手元の広報日程に従いまして、補足説明をさせていただきます。

本日は2番の「審査会合、会見などについて」からです。

1ページ目の下のほうを御覧ください。

10月8日火曜日、(3) 第781回原子力発電所の新規制基準適合性に係る審査会合。こちらは、中国電力・島根原子力発電所2号機の設置変更許可に関しまして、まず、耐震設計方針についての4月9日の会合のコメント回答を受けるとともに、次に、使用済燃料プールの有効性評価について、事業者から説明を受けるものです。

続きまして、1枚おめくりいただきまして、2ページ目、上から2つ目のところを御覧ください。10月9日水曜日、(5) 原子力規制委員会記者会見。こちらは時間が13時からとなっております。原子力総合防災訓練の準備訓練がこの後行われますので、委員長がその訓練に参加いたします。そのために時間を早めさせていただいております。よろしくお願いたします。

その次は、10月11日金曜日、(6) 第782回原子力発電所の新規制基準適合性に係る審査会合。こちらは、関西電力・大飯発電所3号機、4号機の特定重大事故等対処施設の設置変更許可に関しまして、特重施設の設置場所付近で確認された破砕帯について、説明を受けるものです。

続きまして、(7) 第783回原子力発電所の新規制基準適合性に係る審査会合、こちらは議題が2つございます。

1つ目は、九州電力・玄海原子力発電所3号機、4号機の設置変更許可に関しまして、乾式キャスクの貯蔵施設の設置場所について、7月5日の会合のコメント回答を受けるものです。

議題の2つ目ですが、日本原電・敦賀発電所の設置変更許可に関しまして、敷地内の断層の活動性評価について、8月23日の会合のコメント回答を受けるものです。

私からは以上となります。

<質疑応答>

○司会 それでは、皆様からの質問をお受けします。いつものとおり、所属と名前をおっしゃってから質問のほうをお願いいたします。

それでは、質問のある方はお手をお挙げください。では、ヨシノさん。

○記者 テレビ朝日、ヨシノです。

10月9日の総合防災訓練というようなことをおっしゃいましたけれども、これは何をやるのでしょうか。

○児嶋総務課長 原子力総合防災訓練が11月上旬に行われる予定ですが、そのための準備訓練というものを関係各省で行うものでございます。

○記者 今まで何年も見えていますけれども、そういうものは毎年やっているものなのでしょうか。

○児嶋総務課長 実は毎年事務方で、実際の本番に向けて、メンツも替わったりしておりますので、準備訓練というのをやっております。

○司会 ほかに御質問はございますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、本日のブリーフィングは以上といたしたいと思います。お疲れさまでした。

—了—